

city&life

都市のしくみと暮らし
no.111
Jul-Oct 2014

特集

自由が丘——
暮らしやすさの秘密を探る

特集

自由が丘 — 暮らしやすさの秘密を探る

contents	ルポ 「自由が丘物語」	2
	MAP 町のレイヤーから見えてくる 自由が丘の「コモン・スペース」 子育てが楽しくなる町／ハンドメイドで暮らしを楽しむ ナチュラル&ヘルシーな生活／ペットと一緒に町を楽しむ	8
	寄稿 「状景」から考える自由が丘の空間特性 駅のプラットフォームから町を眺める 稲用隆一	15
	座談会 自由が丘、未来会議 林泰義+西村康樹+木下壽子+平沢ゆかり+堀内正弘	21
	連載 スキマファイル② 三軒茶屋のスキマタテ・ヨコ・ナナメの3D的路地空間	29
	連載 子どもたちの「笑顔」に会いに行く② 認定こども園近江兄弟社ひかり園「つながり、集う、木のお家」 まちの保育園 六本木「コミュニティガーデン」	33
	連載 私の好きなまち・暮らし⑨ 葛飾 普通の町の魅力 佐藤滋	37
	back number · information	38



表紙・裏表紙——自由が丘「九品仏川緑道」
photo:秋山由樹

巻頭言

「自由」な町の魅力

東京の「おしゃれな町」の代名詞ともいえる「自由が丘」。路地でつながるコンパクトなエリアに、ファッションや生活雑貨店、レストランや有名スイーツ店がひしめく自由が丘は、主に女性を中心に、行きたい、住みたい町として絶大な人気を集めている。

ところで「自由が丘」とは、地名だろうか。確かに、東京都目黒区自由が丘という行政区域はある。しかし実際には、地名として登録される以前から、ここに集い、暮らす人々は、一帯を「自由が丘」と称していた。いわば自由が丘は、概念として誕生し、それが空間として実態をもった町である。

だから、自由が丘が暮らしやすいか否かと問えば、当然、暮らしやすい。そこには、人々が思い思いに、自分の暮らしを創造し、また発展させていくための、「自由」な土壌があるはずだからだ。

それではなぜ、そのような町が誕生したのだろうか。果たして、他の町にはない魅力があるのだろうか。

今号では、自由が丘と呼ばれるエリアの歴史をひも解き、「風土」性を掘り起こす。集い、暮らす人々の証言から、今を見つめて、未来を考える。そこから、「暮らしやすい町」の秘密を探り出す。

(編集部)